

平成 24 年 1 月 吉日

各 位

大塚アグリテクノ株式会社

新規殺虫剤「オーベスト箱粒剤」の登録取得のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご協力を賜りました新規水稻用殺虫剤のオーベスト箱粒剤の農薬登録を平成 24 年 1 月 11 日付けにて取得いたしましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

今後とも、皆様のご指導ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

商品名 : オーベスト 箱粒剤(第 23031 号)
有効成分・% : クロラントラニプロール・0.75%、ベンフラカルブ・5%
規格 : 1kg×12 袋

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミスゾウムシ イネトヨイムシ センノウカ ヒメヒウンカ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオヒコヤガ コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	移植前 3 日 ～移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	1 回	1 回

〔使用上の注意事項〕

- 使用量に合わせ秤量し、使い切る。
- 育苗箱の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤を払い落とし、培土に定着させるために軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 苗の葉がぬれていると薬剤が付着して薬害を生ずる場合もあるので、散布直前の灌水はさける。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので必ず健苗を用いる。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので代かきは丁寧に行い、移植後は湛水状

態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出したりしないよう水管理に注意する。また、深植にならないように注意する。

- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 本田への移植後低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさける。また、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさける。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤を誤って過剰に使用すると生育初期の葉の黄化や生育遅延などの薬害を生じるおそれがあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を守る。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤食などのないよう注意する。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- ベンフラカルブによる中毒の治療法としては、硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 移植後は、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

〔貯蔵上の注意事項〕

直射日光をさけ、食品と区別し、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。